



議会だより

News from the Assembly

太良



太良町

令和3年度一般会計予算

80億5,938万円

contents

9月定例会

- 9月定例会議案審議 ……2~4P
- 令和2年度決算認定 ……5~6P
- 一般質問 ……7~9P
- 調査報告等 ……10~11P
- 議会の主な活動 ……12P

発行/太良町議会 編集/議会広報編集特別委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<https://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。

No.162

令和3(2021)年10月21日発行
初版発行/昭和56年8月1日

【大野地区のクサギ】

防災行政無線・戸別受信機設置予算決まる

令和3年9月定例会 会期/9月6日～17日(12日間)

専決処分事項 (専決日7月5日)

令和3年度 一般会計の補正予算(第5号)総額・・・430万円
補正後予算総額・・・77億9,390万9千円

歳入

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(国庫支出金)・・・393万円
財政調整基金繰入金・・・36万円

歳出

保育所等施設修理整備等事業費補助金(多良保育園下屋設置工事補助金)・・・36万円
時間外勤務手当(新型コロナウイルスワクチン接種業務)・・・393万円

令和3年度 一般会計の補正予算(第6号)総額・・・2億6,547万8千円
補正後予算総額・・・80億5,938万7千円

一般会計の主な補正

歳入

普通交付税(地方交付税)・・・5,035万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金(国庫支出金)・・・355万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(国庫支出金)・・・333万円
農業水路等長寿命化防災減災事業補助金(国庫支出金)・・・500万円
地域経済循環創造事業交付金(国庫支出金)・・・3,333万円
緊急防災・減災事業債・・・1億5,980万円

歳出

行政手続等における押印等の見直し支援業務委託料
(行政手続き等における書面規制、押印、対面規制の見直しを図るための経費)・・・277万円
民間賃貸住宅等建設促進事業補助金(民間の共同住宅建設に対する補助金)・・・900万円
山林育成基金積立金(令和2年度間伐材等売払収入の基金への積立て)・・・2,024万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業(本年10月から翌年3月までの経費)・・・642万円
防災重点農業用ため池看板設置工事
(転落防止及びハザードマップ周知用の看板設置8箇所分)・・・550万円
地域経済循環創造事業費補助金
(地域資源を活かした先進的で、持続可能な事業化を促進するための補助金)・・・5,000万円
防災行政無線整備事業(防災行政無線の更新に要する経費)・・・1億7,200万円

※金額について万円未満を切り捨てています。



9月定例会審議結果

9月定例会は、報告1件、専決の承認1件、条例議案2件、決算認定7件及び補正予算6件の計17件が町長より、また、意見書2件が議会より提案されました。審議結果は次のとおりです。

賛成＝○ 反対＝× 欠席＝欠 退席＝退 ※議長は採決に加わらない。

議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	議長
		議決結果	山口 一生	西田 辰実	松崎 近	待永 るい子	竹下 泰信	田川 浩	江口 孝二	所賀 廣	川下 武則	久保 繁幸	坂口 久信
報告 第2号	令和2年度太良町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告(全会計とも健全)	報告	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-	-
第47号	専決処分事項の承認 令和3年度太良町一般会計補正予算(第5号) 保育所等施設修理整備等事業費補助金及び新型コロナウイルスワクチン接種業務の時間外勤務手当430万円を増額補正し、補正後の予算総額77億9,390万9千円とするもの。	承認	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第48号	太良町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定 デジタル改革関連法の施行に伴い関係条例を改正するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第49号	太良町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定 デジタル改革関連法の施行に伴い関係条例を改正するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第50号	令和2年度太良町一般会計歳入歳出決算の認定 一般会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第51号	令和2年度太良町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第52号	令和2年度太良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第53号	令和2年度太良町漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定 漁業集落排水特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第54号	令和2年度太良町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定 簡易水道特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-

議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	議長
		議決結果	山口 一生	西田 辰実	松崎 近	待永 るい子	竹下 泰信	田川 浩	江口 孝二	所賀 廣	川下 武則	久保 繁幸	坂口 久信
第55号	令和2年度太良町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 水道事業会計の剰余金処分及び決算を可決及び認定に付するもの。	可決・認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第56号	令和2年度町立太良病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定 病院事業会計の剰余金処分及び決算を可決及び認定に付するもの。	可決・認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第57号	令和3年度太良町一般会計補正予算(第6号) 防災行政無線整備事業等2億6,547万8千円を増額補正し、補正後の予算総額80億5,938万7千円とするもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第58号	令和3年度太良町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 一般会計繰出金43万3千円を増額補正し、補正後の予算総額1億4,043万3千円とするもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第59号	令和3年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 一般会計繰出金等8,903万円を増額補正し、補正後の予算総額14億9,403万円とするもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第60号	令和3年度太良町漁業集落排水特別会計補正予算(第2号) 一般会計繰出金193万8千円を増額補正し、補正後の予算総額4,879万7千円とするもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第61号	令和3年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第2号) 人件費等240万1千円を減額補正し、補正後の予算総額1億4,159万9千円とするもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第62号	令和3年度太良町水道事業会計補正予算(第2号) 人件費等の補正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
意見書 第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 陳情の趣旨に沿い、国に意見書を提出するもの。 提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、衆議院議長、参議院議長	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
意見書 第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書 陳情の趣旨に沿い、国に意見書を提出するもの。 提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(地方創生担当)、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、衆議院議長、参議院議長	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-

令和2年度決算を認定！

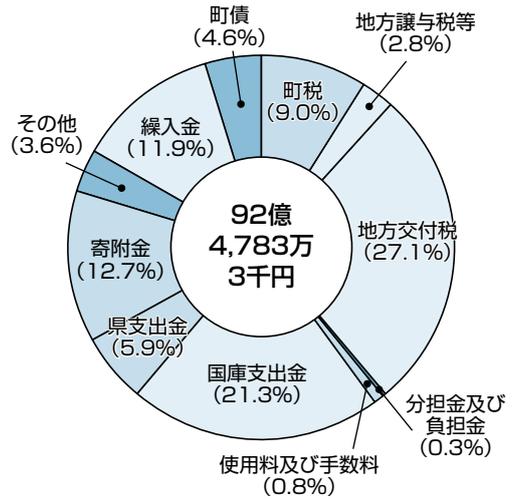
令和2年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算認定について、9月13日～15日の3日間にわたり各項目ごとに、慎重な審査を行いました。歳入歳出ともに適正な執行状況を確認しました。また、各会計とも黒字決算であることを確認しました。

～令和2年度各会計歳入歳出決算額～

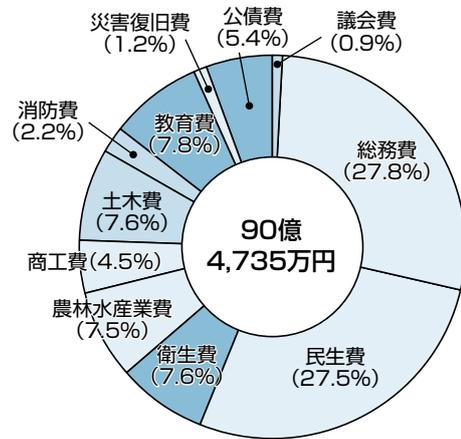
種別	決算額	
	収入	支出
一般会計	92億4,783万3千円	90億4,735万円
特別会計	後期高齢者医療	1億3,388万5千円 / 1億3,345万2千円
	国民健康保険	15億5,273万1千円 / 13億7,460万円
	漁業集落排水	5,509万6千円 / 5,315万7千円
	簡易水道	1億647万7千円 / 1億221万6千円
水道事業会計	収益	5,799万9千円 / 4,292万4千円
	資本	0千円 / 1,819万3千円
町立太良病院事業会計	収益	13億6,518万8千円 / 11億9,807万円
	資本	7,823万円 / 1億1,878万6千円

※千円未満は、四捨五入

一般会計歳入



一般会計歳出



9月定例会 議案審議 Q&A



- Q** 時間外勤務が大幅に増加しているが、特定の職員に偏ってないか。
- A** コロナ対策でワクチン接種等の手続きのため増加しているが、偏らないように留意している。
- Q** 行政手続きで書面規制、押印廃止については。
- A** 窓口での申請書などの中で、押印を廃止できるものから見直し作業を行う予定。
- Q** 空き家バンクを利用された家屋の改修などの移住定住促進事業補助金の内訳は。
- A** 家財処分2件、貸し主の改修1件、利用者の改修2件、仲介手数料1件。
- Q** 防災行政無線、戸別受信機（約3,000台）をプロポーザル方式で選定された会社が優れていた点は何か。
- A** 戸別受信機が軽量で持ち運びしやすく、録音機能がある。聴覚障がい者に文字表示で対応できる。トータルの事業費が最も安価だった点。

令和2年度事業をみんなでチェック！

決算審査特別委員会 Q&A



Q 町立病院でのタブレットを使った面会はどのようにしているか。

A 病院の外来と病棟をタブレット端末を使用して接続し、面会を実現している。

Q コミュニティバスの運営について、どのような意見を把握しているか。

A 8月にアンケート調査を実施。朝の便が早過ぎる、夜の便が遅すぎるなどの運行時間への意見が多かった。

Q 生活支援体制整備事業はどのような事業か。

A 介護予防教室の効果測定、ころばん塾新規立上げ、ウォーキングスタンプラリー開催、独居・認知症通院支援、買い物代行支援、山間部合同交流会などを行っている。

Q 敬老祝金を現金給付にできないか。

A 町内経済活性化のため、これまで通り商品券による給付を継続したい。

Q イノシシ用箱罾の貸出数を増やす事はできないか。

A 猟友会と協議し、必要数を確保していく。

Q 町有林の現状は。

A 林業従事者が足りておらず、木を積極的に切り出す事が難しい。人員確保が喫緊の課題。

Q タララボの運営状況は。

A 9月26日に自社製品直売所をオープンし、甘酒やみかんジュースをPRしていく。

Q 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業とは何か。

A 小中4校への無線LAN環境を整備し、タブレット端末をオンライン接続可能な環境を構築する。

Q 農地の災害復旧における受益者負担を町が負担し軽減できないか。

A すでに町負担は行っている為、状況を見ながら対応を検討する。

Q 役場の太陽光屋根付き駐車場の職員利用有料化は可能か。

A 職員へのアンケートを実施し、方策を検討する。

一般質問

竹下 泰信 議員

本町のコロナワクチン接種状況はどうか

答▽1回目の接種で65歳以上は94.2%、12歳以上は80%

議員 本町の新型コロナワクチン接種で、接種していない人への対処、周知はどうしているか。

議員 中学生、高校生へのワクチン接種の方法はどうなっているのか。

町長 町医師会と協議し、1回目を8月23日から、2回目を9月13日から開始し、10月末には接種完了の予定。

議員 年代別のワクチン接種率はどうか。

健康増進課長 9月1日現在の1回目接種率は65歳以上で94.2%、60～64歳は81.4%、55～59歳は83.2%、30～54歳は73.7%、20～29歳は53.9%、12～19歳は38.6%となっている。

議員 本町では9月1日現在で、19名の町民が感染されているが、年代別にはどう

なっているか。

健康増進課長 50歳以上は2名、30～40代は5名、20代が4名、10代は5名、10歳未満が3名となっている。

議員 感染者19名のうち、20代以下が12名と若い世代に感染が広がっている。11歳以下のワクチン接種はどうするのか。

健康増進課長 ファイザー製の対象年齢は、12歳以上であり、11歳以下の接種は国の指示に従って行うことになる。

議員 2学期が始まり、小、中学校での感染防止対策と感染後の対応策はどうなっているか。



学校教育課長 健康観察として、家庭での検温や体調報告を実施。

また、登校時校門での検温、手指消毒、マスク着用の指導を行っている。感染後の対応は県教育委員会のマニュアルにより対応。学級の閉鎖、濃厚接種候補者リストの作成など保健福祉事務所と対応を協議する。

議員 新型コロナ感染症については、感染者や家族に対する差別、偏見、誹謗中傷など行わないよう、正しい情報と知識の周知徹底をお願いする。

町内小・中学校の校則見直し状況はどうか

議員 県教育委員会では、昨年2月に県立学校の校則見直しを通知し、県弁護士会も同年10月に、中学校校則の見直しの提言書が提出された。本町の見直しの状況はどうか。

教育長 児童・生徒の人権及び防犯上の視点で、名札の着用は校内のみ、靴下や下着の色、髪型などは各学

校で対応するなど見直しを実施している。

議員 弁護士会が提言した問題として服装、頭髪、所持品の制限などが提起してある。これについて、教育委員会としての見解は如何か。

学校教育課長 校則は教育目標の達成や指導のため必要かどうかを検討している。今後も時代に即した校則となるよう協議を行っていく。

議員 校則には子どもたちにも義務を果たすだけでなく権利も明記して、児童・生徒、保護者、先生の三者が十分協議して、よりよい校則にしていきたい。



一般質問

田川 浩 議員

町ホームページで7・8水害の発信を

答▽早急に発信していきたい

7・8水害の災害伝承はどつする

議員 町内で44人の犠牲者を出したこの災害を、町民に対してどのように伝承、情報発信を行っているか。

町長 記念碑の建立、「太良町誌」への記載、資料館における写真資料の収蔵である。



町長 大浦小学校で毎年7月の下旬に7・8災害祈念集会を開催している。

議員 多良地区の方でも開催したらどうか。

学校教育課長 多良小学校などと協議して検討していきたい。

議員 慰霊祭はどのぐらいの周期で行っているか。

町長 周期的な開催はないが、平成24年に50年目の慰霊塔を修築し、慰霊祭を開催した。

議員 同じ44人の犠牲者を出した島原の普賢岳災害は、今年でちょうど30年目で5年ごとに追悼式を行って、毎年献花所の設置などを実施している。10年に一度ぐらいは式典などをやったらどうか。

議員 歴史民俗資料館に写真資料を収蔵とのことだが、展示はしているのか。

学校教育課長 展示は行っていないが、検討していきたい。

議員 小中学校ではどのような取り組みをやっているか。

議員 大木で見通しが悪く、

雑草が生い茂っている慰霊塔周辺を整備して町民に身近なものにしたらどうか。

町長 除草は実態を調査して対応を検討したい。大木の伐採、その他の整備については提案を受けるにどうめたい。



▲見通しが悪い7・8水害慰霊塔の様子

していることから、その確保が目的である。内容は消防団員の報酬基準を定め、団員本人に直接支給することなど。

議員 本町の報酬額を通知の額に合わせた時、年間でどれほどの差異があるか。

総務課長 約1311万円の増になる。

議員 どう対応するか。

総務課長 国の財政措置を踏まえ検討していく。

議員 団員個人への直接支払いはどうするのか。

総務課長 すでに取り組んでいる伊万里市を参考にし、消防団と検討している。

消防団の処遇改善への

対応はどつする

議員 4月に消防庁から消防団の処遇改善について通知された。目的と内容は。

総務課長 消防団員が減少



一般質問

山口 一生 議員

太陽光発電を規制する 条例の制定はしないのか

答▽先進自治体などを参考にしながら、
制定に向けて研究する

太陽光発電開発について

議員 本町における太陽光パネルを敷設している面積はどれほどか。

町長 農地転用により太陽光発電施設を設置している箇所は、平成24年度から現在まで57件、農地転用面積約17.9ヘクタール。農地転用や伐採届に関連し

ないものは把握していない。

議員 今年計画されている開発計画は何件で何社が手掛けているか。

農林水産課長 25件5ヘクタール、3社によるもの。

議員 この無制限な太陽光発電はどうやったら止まるのか。

農林水産課長 町長は農地転用関係については何ら権限がない。あくまで農業委員会受付をして、申請書類を県の方に上げて、県で審査をして、認可される。

議員 太陽光発電開発について把握しているトラブルの内容と件数は。

農林水産課長 排水、水害、光害、住宅の周りに太陽光パネル

が敷き詰められるなどのトラブルを把握している。農業委員会
で把握している分で、7件。

議員 急傾斜地警戒区域、土石流警戒区域、地滑り警戒地域のいずれかに該当する場所において、現在計画されている太陽光発電の開発はあるか。

町長 急傾斜警戒区域で2筆0.67ヘクタール、土石流警戒区域で5筆0.56ヘクタール、地滑り警戒区域で19筆1.61ヘクタール。

議員 危険区域での開発は今後も認可するのか。

農林水産課長 再エネ特措法の中で規制をかけてもらえれば、危険区域での申請は出てこない
と予想される。

議員 業者の倒産により太陽光パネルの撤去を出来ない場合、行政はどういった対応をするのか。

農林水産課長 倒産等で相手方不在の場合は、現段階では私的契約の法的措置等について行政指導を行う。

議員 条例を制定する期限はいつまでか。

つたものがあるか。

企画商工課長 太良町の地域性にあつた有効かつ実行性のある条例としたいと考えているので、しっかりと研究して、町内の合意形成も図りながら、条例制定をしていきたい。

新型コロナウイルスについて

議員 本町で使用されているワクチンの種類と当該ワクチンの治験終了日はいつか。

町長 ファイザー社製のmRNAワクチン。有効性や安全性、効果の持続などを確認するため、現在も治験が継続されている。

議員 接種希望者への短期の副反応、長期のリスクについての説明はどのように行っているか。

町長 配布している説明書に主な副反応についての記載がございますので、事前によく理解した上での接種をお願いしている。長期のリスクについては、明らかにされていない。

議員 これまで本町で確認されている副反応は何件で、どうい

つたものがあるか。

町長 副反応疑い報告書の件数は5件。報告された症状は、肩の痛み、発汗や軽度の呼吸困難、全身倦怠感、発熱等で、いずれも2、3日中に症状の緩和が見られる。

議員 日本国内において、新型コロナウイルス感染症によって死亡、または重篤な状態になった未成年の数は。

町長 現時点での未成年者の死亡及び重篤者については確認されておられません。

議員 未成年へのワクチン接種はどのように行うのか。

町長 ワクチンは任意であり、希望者が接種できるようにしている。本人が希望する場合は接種できるが、100%安全という訳ではなく副反応を伴っている。接種の有無はあくまでも本人及び保護者が納得した上でご判断いただくようお願いしている。



全議員で災害現場調査

－9月8日議案調査など－

今年8月豪雨災害で発生した町内の災害現場を全議員で視察しました。



中尾区の農道災害



船倉区の林道横の崩落現場（林道上）



オレンジ海道（長川原地区）の災害



船倉区の林道横の崩落現場（林道下）

令和3年度 知事・市町議会議長懇話会

令和3年8月3日佐賀市のマリターレ創世で、知事と市町議会の議長との懇話会が行われました。これは、県と市町が連携しながら的確かつ円滑な行政運営を推進し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図るため、当面の行政課題や施策について知事と市長議会議長が意見交換を行うもので、太良町からの要望として、大浦港が前回浚渫してから10年以上経過し、干潮時に航行できないことと、悪臭がするという事で再度、浚渫の要望を行いました。

県からの回答は、令和3年度秋に港内の測量を行い詳細な堆積状況の把握に努めるということと、浚渫に際し発生する土砂の処分地について太良町の協力を求めるということでした。



デジタル技術で自治体を変える！ －佐賀縣市町行政講演会（7月21日）－

「自治体のDXに向けて」というテーマで講師に日本マイクロソフト(株)の宮崎翔太氏を迎え、行政講演会が佐賀市で開催されました。

DXとはデジタルトランスフォーメーションのことで、デジタル技術の活用で、従来のビジネスや組織を変革することです。

基調講演後、県内首長など3名を交えたパネルディスカッションが行われ、「テクノロジーは手段であり目的ではない」「すぐれたアイデアがあれば世界に向けた模範となれる」「DXはすべての人の意識改革」という言葉が印象的でした。



終末医療と放課後児童クラブを調査

～総務常任委員会所管事務調査（7月16日）～

～町立太良病院の現状調査～

1. 終末期医療は本人の希望を

本町での死亡原因は癌を除き老衰が増加し、人生の最後は自宅を希望される方が大半である。本人の希望、周囲の状況、医療の取り組み等の事情を勘案し、人生の最後を迎えられるように実施したい。

～嬉野市の現状調査～

2. 放課後児童クラブで子供達を元気に嬉野市には8校あり、17クラブ（1.65㎡／1人）を設置している。予算は社会福祉協議会に1億1,700万円（市単独支出額5,000万円）で委託している。平日19時まで、土曜日及び長期休業期間は7時半から19時、約600名を38名（登録60名）の支援員で運営されている。



▲嬉野市の放課後児童クラブの様子

昨年の豪雨被害総額は9億9,250万円

～経済建設常任委員会所管事務調査～

町民に安心感を、農林業への影響を最低限に留め、日常生活を早急に取り戻すため、当委員会では7月20日、町の豪雨被害の内容、復旧状況、今後の復旧計画等について、建設課と意見交換を行い、その後、被災箇所の現地確認を実施しました。

主な被害の状況は、家屋の床上浸水25戸、床下浸水45戸。公共土木関係では町道60箇所、町河川10箇所、被害額は2億8,300万円、農地・農業用施設関係では農地300箇所、たけ池1箇所、水路20箇所、農道20箇所、被害額は、6億6,700万円、林道関係では75箇所、4,250万円被害を受け、激甚災害にされています。

近年の異常気象による降雨状況をみれば、以前と比較して想定を超えた災害が頻発しています。

災害復旧、防止対策として、路面排水処理や護岸の嵩上げ、河川の浚渫など中長期的な計画と大胆な改修、受益者負担の更なる軽減など、積極的な防災行政の推進が必要です。



▲高野川の被害状況



議会の主な活動

7月～9月

9月

- 17 9月定例会議案審議
- 15 決算審査特別委員会
- 14 決算審査特別委員会
- 13 決算審査特別委員会
- 8 議案調査
- 8 一般質問
- 6 議会全員協議会
- 6 9月定例会招集
- 1 議会運営委員会

8月

- 3 知事・市町議会議長懇話会

7月

- 5 議会広報編集特別委員会
- 16 総務常任委員会所管事務調査
- 20 経済建設常任委員会所管事務調査
- 21 市町行政講演会



令和3年（7月～9月分）
議長交際費の支出状況

区分	件数	支出額(円)
祝儀	1	3,000
会費	—	—
慶弔	1	10,000
贈呈	—	—
謝礼	1	2,160
その他	—	—
合計	3	15,160

議会クイズ！

お買物券が当たる！

Q 今年には東京オリンピックがありました。オリンピックの後に開催される、障がい者を対象とした世界的なスポーツ大会は何でしょう？

A ① パラリンピック ② ガタリンピック ③ ねんりんピック

解った方は、ハガキに答えを明記し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698 太良町大字多良1-6
太良町議会事務局「議会クイズ係」宛

※締め切り／11月19日(金) 消印有効
※当選者の発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。

みなさーん
議会に対する意見
などをどんどんお寄せ
下さい。

- 編集委員会
- 委員長 田川 浩
 - 副委員長 竹下 泰信
 - 委員 山口 一生
 - 委員 西田 辰実
 - 委員 松崎 近



本町に大雨警報が令和3年8月11日発令されました。今年には例年になく長雨が続き、8月11日から、8月14日までに、多良地区、合計18名、大浦地区17名が避難されました。

太良町は昭和37年7月8日の「7・8災害」では大浦地区で集中豪雨による大規模な地滑りが起こりました。この災害で多くの犠牲者が出ました。大きな災害はこれ以降ありませんでしたが、いざという時に命を守る行動や家族の避難の方法を確認するなど、防災の意識を持つことが重要です。

編集室より